

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

<p>平成29年度 重点目標 「夢にむかって自分らしく輝く子の育成」</p> <p>1 グリーンスクールの拡充 人権が守られた学校(いじめゼロ) 安全で安心な学校体制 挨拶・返事・履物そろえの徹底 体力健康の増進</p> <p>2 授業力の向上 学ぶ喜びを実感させ、自己学習へつなげる授業 学びの質や深まりを重視した授業改善 ノート指導の充実 自己学習ノートの充実 思考力ファイブを活用した協動的な深い学び</p> <p>3 チーム力による特色ある教育活動 英語教育 キャリア教育 子ども堺学(緑地の活用) 4 言語活動の充実 コミュニケーション力 プレゼンテーション力 ソーシャルスキル力 読書習慣の育成</p>

<p>学びの現状(堺市「子どもがのびる」学びの診断結果より)</p> <p>国語については、全体としては全学年で堺市の正答率を超えているが、「文章を読み取る力」に、学年によってばらつきが見られる。今回は、説明文の読み取りで、正答率の高い学年と低い学年があった。</p> <p>算数については、全体としては全学年で堺市の正答率を超えているが、図形の性質を考えたり、面積を求めたりする問題に関しては、計算問題に比べて、学年によってばらつきが見られる。</p> <p>学習・生活状況アンケートでは、「学びに向かう力」や「困難な問題を解こうとする力」、「人権意識」が向上傾向である。一方で、家庭での読書量が年々減ってきていることは課題である。</p>	<p>体力の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール投げは5年女子以外の学年が、平均を下回っている。 ・シャトルランは、平均を大きく下回っている学年が多い。 ・50m走は、男女とも、平均を下回っている学年が多い。 ・握力は、男女とも、平均を下回っている学年が多い。
---	---

大項目	中項目	具体目標	評価項目 (取組、成果・状態) (●評価育成システムにおける重点)	評価方法・判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	達成状況	
							自己評価	学校関係者評価
確かな学び	学力向上	思考が見えるノート指導の充実	●課題解決学習を通じた協働・探究活動(アクティブラーニング)を行うことで、思考力・表現力・自学力を育成する。	「ノート指導」項目で肯定的回答7割以上 学テで堺市平均を上回る	学校評価アンケート 堺市学力テスト	10・3月 10月		
		基礎学力・学習規律の向上	大泉漢字計算検定、朝の学習、家庭での自学ノートの取組みを通して、漢字力や計算力などの基礎学力の定着を図る。	大泉検定で平均点8割以上 学テで堺市平均を上回る	堺市学力テスト 大泉検定	10月 年3回		
		英語教育の充実	●1・2年は慣れ親しむ、3・4年は簡単な会話、5・6年は日常会話を目標にして、英語教育を充実させる。	「英語活動」項目で肯定的回答7割以上	学校評価アンケート	10・3月		
	生活・総合	生活科・総合的な学習の時間の充実	児童が主体的に問題解決できる生活科・総合科の授業作りを通して、異学年交流の充実とプレゼンテーション能力の向上をめざす。	「生活・総合」項目で肯定的回答7割以上	学校評価アンケート	10・3月		
		キャリア教育の充実	●ドリームファイルを活用し「あこがれや夢を持ち、自己の生き方を考える子」の育成をめざす。	「自己実現」項目で肯定的回答7割以上	学校評価アンケート	10・3月		
		豊かな心	●グリーンスクールの指標作りと道徳授業、日常の生活指導を行うことで、自己の行動を振り返り、改善することができる子どもを育てる。 ●道徳の校内研究授業や保護者への公開授業、支援学級出前授業、人権講演会などの取組を通して、道徳・人権教育を充実させる。 ●異学年交流や児童会・委員会などで活躍の場を与えることで、自尊感情を育む。	「グリーンスクール」項目で肯定的回答7割以上。 「おもいやりの心」項目で肯定的回答7割以上。 「自尊心」項目で肯定的回答7割以上。	学校評価アンケート 教育評価アンケート 学校評価アンケート	10・3月 10・3月 10・3月		
健やかな体	体力向上と健全な生活習慣の定着	「大泉チャレンジタイム(大縄・かけあし)」を充実させ、体力向上を図る。 はつらつカード等で家庭との協力関係を深め、早寝早起き、朝ごはんなど「堺市7つの約束」の実践を定着させる。3ピカチェックで基本的な生活習慣を定着させる。	「体力向上」項目で肯定的回答7割以上。 はつらつ・3ピカカード 「生活習慣・健康」項目で肯定的回答7割以上。	学校評価アンケート 堺市学力テストの学習・生活アンケート	3月 10月			
	小中一貫教育	9年間の豊かな成長を育むための小中一貫教育の充実	●学園の合同研修・研究を推進して、小中の教員が互いの専門性を学び合うことで授業力を高め、9年間の系統的な教育課程を編成する。学園のPDCAサイクルを確立して、教育活動の向上的変容とチーム力の向上をめざす。そして、学園全ての教員で、学園全ての児童生徒に関わっていく。	学園会議・学園研修の計画的な運営・実施。 学校評価アンケートの「一貫教育」項目で肯定的回答7割以上。	学園会議 学園研修 学校自己診断	通年 3月		

校長より	学校関係者評価者から
------	------------